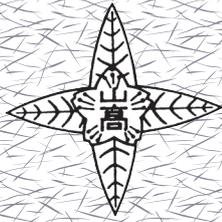


## 第76号

編集・発行  
日本大学山形高等学校  
図書館部  
図書委員会

発行日  
令和3年2月17日

(株)大風印刷



日大山形

# 図書館報



## 図書館へ行こう

事務長 田中和仁

図書館は、一定の静寂の中に、幾多の書棚に数多の本が整然と並んでいる。私は、そんな図書館に入ると気持ちが高揚する。そして、膨大な情報の宝庫である図書館は、調べ物など目的意識を持って行く場合もあるが、何の気なしに自由な姿勢で図書館へ入り、本のタイトルや色とりどりの装丁の本をおもむろに取り出し、パラパラと拾い読みをして本に出合うことが好きだ。

読書はストレス解消にもなるが、興味もない本を読むことの苦痛は、受験勉強など必要最小限にするべきだと思う。無理して読んでも頭に入ってこないし、結局眠たくなり時間の無駄になるのが私の常であった。

そんな読書家と言えない私でも、今でも心に残っている本がある。そのうち私が高校時代に読んだ三冊の小説を紹介したい。小説は虚構である。虚構であるからこそ著者の設定したテーマがストーリーリイを貫き、活字を駆使して表現された心の叫びなのだ。

まずは三島由紀夫『金閣寺』である。「美に対する嫉妬、社会に対する報復」を動機として、実際に起こった金閣寺放火事件を題材にして書かれた小説である。自らの心身のコンプレックスから社会に対する強い拒絶感を持った修行僧が、墮落し破滅に向かう紆余曲折の過程を経て到達した結論は、美の頂点と畏怖する金閣寺を焼くことだった。放火した金閣寺が燃える様子を眺めながら修行僧は達観したかのように、すべてを受け入れて「生きよ

う」と思うのだった。心にガツンとくる文章表現は難解な言い回しもあるが読み応え抜群である。

二冊目は、夏目漱石『こころ』である。若い学生が鎌倉の海水浴場で偶然出会った老齢の男性を「先生」と呼び、交流が始まる。思慮深く、奥ゆかしい学者然とした先生を尊敬する学生は、一見仲の良い先生夫婦にわだかまりを感じる。そんな中、先生は学生に書簡を贈る。それは先生が学生時代、今の奥さんを得るために、親友を裏切り、その親友が自殺したことに対する罪悪感の苦悶の日々を告白する遺書であった。人間のエゴに囚われた過去を隠し持った先生が最後は自らの死を選んだ心の動きが淡々と透明感を持った文章で綴られている。

最後の一冊は、北杜夫『百蟻譜』だ。腎臓を患い入院中の幼い子供が陳腐な病室に在ることで、却って精神活動を逞しくして成長する過程を描いた短文小説である。私がこの小説に出会ったのは、模試受験中、国語の読解問題の一問だった。読み解くうちに、その文章の魅力に引き込まれたことを記憶している。北杜夫は、山形が生んだ近代短歌の巨星斎藤茂吉の子息である。

読書の効用は、活字というコミュニケーション媒体を通じて、今まで知らなかった世界を疑似体験することで、読者の想像力が膨らみ感性が研ぎ澄まされていく上に、豊富な語彙が身に付くなど国語力アップ間違いなしだ。

どんな本に出合えるか、興味本位の羅針盤に従って図書館へ行こう。



# 私の読書道

第21回

## 銃・病原菌・鉄 人類は何を克服してきたか

教諭 野川 淳(地歴・公民)

新型コロナウイルスの感染が拡大の一途をたどっており、医療関係の方々や医療機関の混乱や大変さを思うと、少しでも早くこの状況が終息することを願うところである。

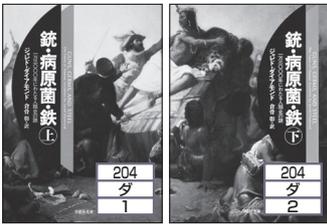
さて、最近読んだジャレド・ダイアモンド作の『銃・病原菌・鉄 一万三千年にわたる人類史の謎』(上下巻)を紹介したい。著者はアメリカの生理学者でUCLA(カルフォルニア大学ロサンゼルス校)で教鞭をとっている人である。著書の中では、人類が関わってきた銃の発明・病原菌との闘い、鉄の使用を中心に、人間がどんなものを発明し、進化してきた中でどのようなものを克服してきたのかを知るうえで、非常に興味深いものがあつた。銃の発明では、西洋社会がいち早く銃を発明し世界各地に進出し、スペインなどが大陸の支配のために多くの先住民を虐殺し金や銀を奪うなど文明の破壊を行った。一方でヨーロッパの人々が新大陸へ進出する時にもたらしたのが病原菌(ウイルス)であり、多くの先住民の方が亡くなっている。つまり環境破壊はここから始まり、病原菌との戦いは過去の事例でもいとまがないほど多くの犠牲の中で現在に至っていることであつた。さらに著書の中に「アンナ・カレーニナ」の作者であるトルストイが「すべての幸せな家庭は似ている。一方で、不幸な家庭は、それぞれ異なる理由で不

幸である。」という言葉にその法則性が込められているということであつた。この法則は、人生において様々な問題の壁にぶち当たったときに、なぜ失敗したのか、その失敗の理由を考え克服していくことで幸せな人生を送ることができるというものである。『アンナ・カレーニナ』の作品は、ロシアの文豪トルストイの名作であるが、意外と読む機会がないことが多いと思う。

政府高官の夫カレーニンの妻アンナが若き貴族の将校ヴォロンスキーとの恋に落ちることから、夫と愛する人のどちらかを選ぶかという問題と、アンナの妹がその将校にあこがれるが姉に取られてしまい、失意の中で一度求婚を断った相手である農業領主のリョーヴィンと結婚し幸せな生活を送るのに対して、主人公のアンナはヴォロンスキーへの猜疑心から自ら列車に飛び込んでしまう。物語は、もう一人の中心人物のヴォロンスキーが愛する人を失った中で、自ら義勇軍を編成しトルコとの戦争(露土戦争)に身を投じていく。一方で、アンナとヴォロンスキーとの間に生まれた女の子(アニー)は、元の夫であるカレーニンが引き取ってアンナの忘れ形見として育てる物語である。

また、「なぜシマウマは家畜にならないのか」という命題では、五つの要因を挙げ①大食いである、②成長が遅い、③繁殖が難しい、④パニックを起こしやすい、⑥序列のある集団を作らないというものであつた。つまりこれの逆に当てはまる動物が家畜となったということになる。機会があれば是非一読いただきたい。

※このコーナーは、図書選定委員の先生方のリレー形式となっております。



## としよかんニユース

### 先輩方からの寄贈に感謝

昨年三月に日大山山高校友会より図書の寄贈がありました。この会は山新グループの本校卒業生による会で、会長は佐藤宏樹氏です。毎年寄贈していただいております。今回で二九回目となります。科学や芸術、環境に関する図書など計九冊いただきました。これまでにいただいた図書は三五八冊になります。

これらの図書は閲覧室内の専用書架に配架しています。先輩方の善意に感謝し、学習や調べ物に活用させていただきたいと思っております。



### 読書感想画に挑戦!

第三二回読書感想画中央コンクールに、本校から指定図書二作品、自由図書一作品出品しました。本を読んで感じたことを絵に表現することで、想像力や表現力が養われます。

絵を通して読書後に感じたことを伝えてみませんか。次回は皆さんも挑戦してみてください。



出品した3作品です



～参加者の声～

- 楽しかった。
- 思ったよりも上手にできた。
- みんなに見てもらえそうな帯ができてよかった。
- 久々に絵本を選んだり、読み返したりして、懐かしかった。
- 普段の自分の字は拙いので、キレイに書くのがツラかった。

○実際に自分も絵本の制作に携わっているみたいな気持ちになった。

○この帯を作るために大好きな絵本の内容をもう一度味わえたのでよかった。

○帯のついた本をよく見かけるが、自分がその帯を作るなんて、そんなに経験できるものではないので感慨深かった。

令和2年度  
**図書館講座**  
～絵本の帯を作ろう！～

今年度の図書館講座は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年行なっている幼稚園に行つての「読み聞かせ」が不可能になったため、「絵本の帯作り」となりました。絵本に親しんでほしい、好きな絵本を紹介する楽しさを味わってほしいという考えから企画しました。

今年の参加者は図書委員長、学年代表、グループリーダー（みんなももちろん初めての経験でしたが、始めてみるのと、けっこう作るのに没頭し、楽しい雰囲気の中でも自分なりのペースで、制作へのこだわりをみせていました。



の経験でしたが、始めてみるのと、けっこう作るのに没頭し、楽しい雰囲気の中でも自分なりのペースで、制作へのこだわりをみせていました。



令和2年度 貸出統計より

日大山高生に人気のある本はこの10冊!

書名	著者名	請求番号
1位 『緋弾のアリア』	赤松 中学	913.6 ア
2位 『盾の勇者の成り上がり1』	アネコユサギ	913.6 ア
3位 『やはり俺の青春ラブコメはまちがっている。』	渡 航	913.6 ワ
4位 『ソードアート・オンライン プログレッシブ3』	川原 礫	913.6 カ
5位 『キノの旅8 the beautiful world』	時雨沢恵一	913.6 シ
6位 『風に恋う』	額賀 滯	913.6 ヌ
7位 『ログ・ホライズン1 異世界のはじまり』	橙乃ままれ	913.6 ト
8位 『O型自分の説明書 続』	Jamais Jamais	141.9 ジ
9位 『青くて痛くて脆い』	住野 よる	913.6 ス
10位 『かがみの孤城』	辻村 深月	913.6 ツ

令和3年1月31日現在

上位は例年と同じように、ライトノベルが独占しました。小説や映画化により話題となった作品が読まれているなか、『O型自分の説明書 続』のように、自分のことを楽しく知ることができる本に興味をもつ人も多かったようです。思春期ならではの悩みを持つ人が多いのでしょうか…?

図書館には上位に入った本以外にも、色々な本があります。これからもたくさん本に触れて、自分の興味や関心を深めていきましょう。

(2年 鈴木 佳乃)

休校期間の貸出統計

貸出冊数

生徒	教職員	合計
82	44	126

分類別

0類	1類	2類	3類	4類	5類	6類	7類	8類	9類
0	5	3	3	1	3	0	10	1	100

読みたい本が貸出中のときは  
リクエスト(予約)をしてください!



読書で気分転換してください



# 決定！多読クラス賞&ベストリーダー賞

## ◆多読クラス賞

今年度の多読クラス賞が決定しました。二期期の終業式が放送で行われたため、各学年一位のクラス図書委員に、図書館で賞状をお渡ししました。

受賞したクラスの図書委員からは、「クラスの読書への意識が高い」「これを機に文字に触れる機会をもっと少し増やしても良いのでは？」「借りた本の冊数に驚いた。大学でも読書をしたい」という声が寄せられました。

四月からも読書の輪を広げ、みんなで多読クラス賞を目指しましょう。

## ◆ベストリーダー賞

今年度のベストリーダー賞が決定し、四一名が受賞しました。学年やクラスに関係なく競い合いつつ、楽しみながら本を借りる場面が多く見られました。

受賞された皆さんには後日、賞状と賞品が贈られます。ベストリーダー賞の集計は終了しましたが、これからも様々な本に触れてほしいと思います。

### 学年別の部

<b>3学年</b> ★1位 K・Sさん 429冊 ★2位 Y・Mさん 424冊 ★3位 K・Tさん 271冊	<b>1学年</b> ★1位 M・Sさん 361冊 ★2位 K・Nさん 52冊 ★3位 H・Kさん 50冊
<b>2学年</b> ★1位 N・Kさん 51冊 ★2位 Y・Sさん 45冊 ★3位 N・Wさん 41冊	



### コース別の部

(コース別の部は学年別の部から選ばれた人が対象)

<b>特進コース</b> ◆1位 K・Wさん ◆2位 G・Sさん ◆3位 S・Tさん M・Kさん K・Fさん	<b>スポーツコース</b> ◆1位 S・Tさん
	<b>進学コース</b> ◆1位 Y・Sさん ◆2位 K・Kさん ◆3位 S・Sさん N・Kさん



3年9組



1年7組

★1年7組	10.8冊
★2年10組	3.8冊
★3年9組	20.1冊
全校生平均	2.1冊

※令和2年5月～11月までの貸出冊数+各クラスの数で集計



2年10組

※各部門とも、令和2年5月～令和3年1月までの個人の総貸出冊数で集計

## 私の一冊

### 『天の梯子』

この本は祈りに関するエッセイで、色々深いなと思われました。私たちは苦しい状況に陥った時など祈りますが、その祈りの中でふと安心を得られるかのような気持ちになります。この本の中でも、祈りの中でふと平安が与えられることを優しい言葉で書き、祈りとは何かという本質をわかりやすく語っています。

主の祈りや神と対話することの大切さを気づかせてくれる、まさに祈りの入門の本と言えるでしょう。クリスチャンなら当たり前のようになっている言葉もより深く語っているので、自分を見つめ直すきっかけにもなりました。

三浦 綾子 著



### 『もつと変な給食』

給食といえば、小学校・中学校で誰でも食べたことがあるのではないだろうか。管理された栄養の元で作られたバランスの良い食事が思い浮かぶだろう。しかし、栄養豊富な給食がある一方そうではない給食も存在している。本書では、偏ったさまざまな給食の例を紹介しており、その一つに「プロッコリー」にポテトチップスが混ざったサラダ」がある。山形の給食も紹介されているので、ぜひ見てほしい。

今回紹介した給食の他にも、日本各地でさまざまな変わった給食が出されている。この本を読み進めていくにつれて、自分のこれまでの食生活が見直せることもあれば、見たことがない給食にも出会えることだろう。いつかあなたの地域にも変わった給食が現れるかも!?

幕内 秀夫 著



### 『獣の奏者』

決して人間に馴れない孤高の獣である「王獣」。主人公のエリンは傷ついた王獣の子を救いたい一心で王獣を操る術を見つけてしまふ。しかし、王獣は「けつして馴らしてはいけない獣」だった。エリンは操る術を持つが故に王国の命運をかけた争いに巻き込まれ、波瀾万丈の人生を送ることとなる。

ファンタジー作品として王道な画を持っていながら濃密なリアリティがあり、個人と社会、小さな視点から大きな視点への切り替えの巧みさに魅力を感じる。ぜひこの本を読んで、一人の少女の生きざまと現実問題に訴えかけてくるような世界観を味わい、人間の争い、そして命と愛について深く考えてみてほしい。

上橋菜穂子 著



一年五組 小出 浩輔

二年八組 松田 春汰

三年六組 石川 結花

# 図書委員会活動報告



一味違う一年  
前期委員長 三年三組 椎名 悠真

今年度の委員会目標は「誰もが読書しやすい環境をつくる」と、個人的に目指すものとして「本を読まない人には本を見つけてきっかけを、本好きには本を読みやすい環境をつくる」というものを掲げて、活動してきました。

しかし、新型コロナウイルスの影響で桜華祭が中止となり古本市が開催できなくなるなど、大きなイベントや日常の活動もこれまでのようにできなくなっていました。このような大変な状況ではありましたが、図書選定は通常通り行えました。また、蔵書点検は密を避けるため例年より短時間で、しかも人数を減らしての対応となり大変でしたが、委員の協力のもと成し遂げることができました。日大図書通信では絶対絶命な状況の時もありましたが、委員はもちろん様々な人からの手助けもあり、完成することができました。

例年よりは十分な活動はできませんでしたが、工夫をし二つの目標を達成できたと思います。これからもより一層図書への関心が高まればと願っています。



新たな委員長として  
後期委員長 二年六組 五十嵐 賢大

後期委員長になった五十嵐賢大です。私は図書館に多く存在する良書を学校の多くの人に知ってもらえるよう、委員会の皆と日々努力しています。

私は昔から図書委員長になったら成し遂げたい目標の一つありました。それは「本の貸し出し総数と図書館の利用者数を増やす」というものです。今、この学校の貸し出し冊数は決して少なくはありません。しかし、一部の人がたくさん借りているのが現状です。これをこのままにするのではなく、一度も図書館を利用したことのない人を、たまにいいから学習や本を借りに足を運んでもらえるようにしたいと思っています。そのために図書館の有用性を広く知ってもらうための行動をしていきます。

活動目標 ● 誰もが読書しやすい環境をつくる  
キャッチフレーズ ● 読んで知識を 呼んで良書を

## 令和2年度 図書委員会

月～土曜日の6つの班があり、A(読書推進)、B(資料装備)、C(広報データ)の3グループに分かれています。執行部を中心に利用しやすい図書館を目指し、日々活動しています。

〈前期執行部〉	
委員長	3年3組 椎名 悠真
副委員長	3年10組 鈴木さくら子
グループリーダー	A 3年9組 笠原 嵩
	B 3年10組 齊藤 栞
	C 3年5組 菅野 一花
2年生代表	2年6組 五十嵐賢大
〈後期執行部〉	
委員長	2年6組 五十嵐賢大
副委員長	2年7組 鈴木 佳乃
グループリーダー	A 2年4組 竹田 匠吾
	B 2年7組 押野 友香
	C 2年6組 加賀 悠希
1年生代表	1年5組 小出 浩輔



執行部を中心に、みんなが利用しやすい図書館を目指し、日々活動しています。

1学年	
1組	丸田 流星
2組	鈴木 煌大
3組	秋葉 雄斗
4組	高橋 洸気
5組	黒川 颯太(前)
6組	児玉 旭
2学年	
1組	志鎌 幹太
2組	伊藤 来瑠
3組	池田 佳行
4組	木村 匠
5組	遠藤 華鈴
6組	村山あかり(前)
3学年	
1組	柏倉純太郎
2組	佐藤惇之介
3組	椎名 悠真
4組	佐々木悠吏
5組	菅野 一花
6組	石川 結花
7組	岸 莉々聖
8組	神林 百香
9組	笠原 嵩
10組	滝口 洸(前)
11組	齊藤 栞
12組	軽部 友貴
4学年	
1組	八嶽 誓心
2組	山崎 拓斗
3組	高野 宏倫
4組	日野 空透(後)
5組	小出 浩輔
6組	小出 響己
7組	秋場 徳仁(後)
8組	工藤 幹太
9組	萩生田翼永(前)
10組	長岡 悠(後)
11組	小関 和清
12組	木村 博亨
5学年	
1組	高橋 崇斗
2組	細谷 裕夢
3組	那須 洋介
4組	佐藤 光翼
5組	石山 颯大
6組	吉田 天音
7組	丹野 杏
8組	木川 紅葉
9組	櫻井 幹太(後)
10組	鈴木さくら子
11組	舟越 拓海

※(前)：前期のみ (後)：後期のみ



# ライブラリーフォト ~図書館・図書委員この1年~

## 7月 前期第1回委員会



## 前期図書選定



## 8月 蔵書点検



## 11月 後期第1回委員会



## 後期図書選定



## 村山支部図書委員研修会



## 12月 雑誌リサイクル



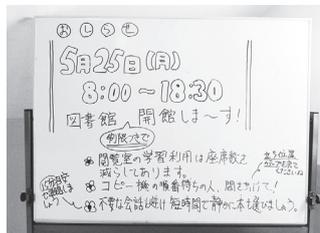
## コロナ対策1年の歩み

新型コロナウイルス感染拡大防止のための休校から始まった今年度は、今までとはまったくと言っていいほど違う1年になりました。今後も、状況に合わせてまだまだ進化していきます！

1か月くらいは学校の完全下校時間も早く、それに合わせて早く閉めていました。通常の開館時間8:00~19:00に戻ったのは6月下旬。色々な対策を講じながら開館しています。



休校中は入館禁止。ウェブで貸し出しを受け付け、登校日に学級担任を通じてのやりとり。英字新聞で梱包してカードをつけてみました。



休校が明け久々の開館！座席数を減らしたりと対策はバッチリ。開館前日の登校日に廊下のホワイトボードで予告。嬉しくて文字も踊っています。



座席数は、56席から21席に。



コピー機の順番待ちは間隔をあけてもらうよう立ち位置をテープで示しています



注意を促すドアの貼り紙。本はドアの向こうに見えるBOXで回収し、消毒してから書架に戻します



利用名簿に時間やどの机を利用したかも書いてもらい、利用後に席を消毒

## 編集後記

新型コロナウイルスの影響により、私たちの生活が大きく変わった2020年。ウィルスの恐ろしさを実感するとともに、健康で穏やかな日常を過ごせることの幸せを改めて感じました。図書館でも試行錯誤しながら感染予防対策に努めています。その中でも、Classiを通じて貸出希望受付の実施や日大図書通信の配信など、新たにできることの発見がありました。コロナ禍の不安と緊張感がある生活の中、読書が気分転換や楽しみの1つになったら嬉しいです。これからもみなさんの心にそっと寄り添う図書館でありたいと思います。(佐藤(沙))